

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失)

(依頼コード No.13730)

受託開始日 2022年6月1日(水) ご依頼分より

男性不妊の原因のひとつとして、Y染色体上の無精子症因子(azoospermia factor: AZF)領域の微小欠失が知られており、その欠失は主にAZFa、AZFbおよびAZFcに生じ、欠失する領域によって症状が異なります。

Y染色体の構造異常または微小欠失がどのAZF領域に起きているかを検査することは、補助生殖医療のために精子を採取できる可能性を判断し、精巣内精子採取術(TESE)の適応を検討する上で有用です。

本検査では、21種類のSTS(sequence tagged-site)マーカーを用いてY染色体の微小欠失の有無を判定します。

●当該検査の受託開始に伴い、現行の研究検査：Y染色体微小欠失解析(依頼コードNo.12142)は2022年7月30日(土)ご依頼分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 ビー・エム・エル

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

URL : <http://www.bml.co.jp/>

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願ひいたします。



受託要領

依頼コードNo.	13730
検査項目名	Y染色体微小欠失検査
統一コード	8C896-9935-019-898
検体必要量	血液 2.0mL
容器	B-30(遺伝子解析用)
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁
所要日数	7~20
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	なし
単位	なし
	<p>【親展報告】【別紙報告】 欠失なし、欠失14パターン*</p> <p>*欠失14パターンは以下のとおりです。 「AZFa欠失」、「AZFb欠失(P5/proximal P1)」、「AZFb+c欠失(P5/distal P1)」、「AZFc欠失(b2/b4)」、「Y染色体欠失」、「Y染色体長腕欠失」、「Y染色体長腕部分欠失I」、「Y染色体長腕部分欠失II」、「Y染色体長腕部分欠失III」、「Y染色体長腕部分欠失IV」、「Y染色体長腕部分欠失V」、「Y染色体長腕部分欠失VI」、AZFc部分欠失(gr/gr)、判定不能</p>
報告範囲 (報告形式)	なし
報告桁数	3770点/100点(遺伝子関連・染色体検査)
検査実施料/判断料	<p>Y染色体微小欠失検査は、不妊症の患者であって、生殖補助医療を実施しているものに対して、PCR-rSSO法により、精巣内精子採取術の適応の判断を目的として実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。</p> <p>なお、本検査を実施する医学的な理由を診療録に記載する。</p>
備考	<p>倫理指針項目 匿名化依頼書を使用してください。</p>

【検査方法の参考文献】

Eitetsu Koh et al.: J Mamm Ova Res 30(4), 135-144, 2013.

Masashi Iijima et al.: Int J Urol 21, 910-916, 2014.